

各種商品小売業における死亡災害事例（1999-2020年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労働 者規 模
1999	5	15 ～ 16	顧客を対象とした車の走行会に参加したのち、軽乗用車で国道を走行中、緩やかなカーブで対向車線にはみだし、対向の乗用車と正面衝突した。	231	17	1～9
1999	7	18 ～ 19	国道を普通貨物車で走行中、左カーブにおいて対向車線にはみ出し、対向の10トントラックに衝突した。	221	17	1～9
1999	10	5 ～ 6	コンビニエンス店で、客を装った男が同店内で商品の陳列をしていた店員に刃物(刃渡り約12センチメートルの切り出しナイフ)を突き付け「金を出せ」と脅したが、これに抵抗したため刃物で左腹部を数回にわたって刺された。	911	90	10～ 29
1999	11	21 ～ 22	商品搬送用リフト(積載荷重240キログラム)に乗ってクリスマス商品を中2階に運搬中、リフト搬器の周囲のさく(高さ1メートル)と中2階フロアとの間に胸を挟まれた。	214	7	100 ～ 299
1999	6	17 ～ 18	客先で通信機器の調整作業中に、集中豪雨で裏山が突然崩れたため、事務所が土砂に押しつぶされ生き埋めとなった。	711	5	10～ 29
1999	12	17 ～ 18	県道に隣接した作業場所で、正月用のかざり作りを終えて事務所でタイムカードを押すため、県道を横断したときに走行してきた普通自家用車に激突された。	231	17	10～ 29
		11	コンビニエンスストアの店長が本部に向かうために乗用車で国道を走行			

1999	7	～	中、交差点で赤信号のため停車したところ、後続の保冷車に追突されて左	231	17	1～9
	12		前方の信号柱に衝突した。			
2000	4	14	乗用車で客先へ向かう途中、国道の緩い左カーブで対向車線にはみ出、対	231	17	10～
		～	向車と正面衝突した。			29
		15				
2000	7	20	店内で万引した者を発見し追尾したところ、走って逃げたため全力疾走で	911	90	50～
		～	約200mほどおいかけたところで一度気を失い倒れ、他の者が万引を捕ま			99
		21	えたものの、事務所へ戻って意識を失い心筋梗塞で死亡した。			
2000	8	7	得意先に肉を配達して国道をバイクで走行中、片側3車線の中央車線から	231	17	1～9
		～	追い越し車線側に変更をしたところ、後から走行してきたワゴン車に追突			
		8	された。			
2000	11	8	機器修理のため車で走行中、交差点内で右折しようとしたときに、対向車	221	17	1～9
		～	線上を大型トラックが直進してきたため正面衝突した。			
		9				
2000	4	18	商品の引き取りに自動車で行中、センターラインをオーバーをしたた	231	17	1～9
		～	め、直進してきた車と衝突した。			
		19				
2000	7	16	ワゴン車(レンタカー)に9人乗車して高速道路を走行中、右後輪タイヤが	231	17	100
		～	パンクして道路左側の新道予定地で横転し、1人が車外にとばされて死亡			～
		17	し、運転手ほか7人が負傷した。			299
2000	7	13	会社の同僚と別々の軽トラックで納品のため国道を走行中、センターライ	221	17	1～9
		～	ンをはみ出して対向のタンクローリーと衝突した。			
		14				
2000	3	9	商用車で顧客宅に向かう途中で雪が激しく降り出したため引き返そうと	231	17	1～9
		～	国道を走行中、緩やかな左カーブのところセンターラインを超えて対向			
		10	の大型トラックと正面衝突した。			
		13	健康食品の販売のため車で走行中、自動車道で左側ガードレールに激突、			10～

2000	4	～ 14	横転した。	231	17	29
2000	6	9 ～ 10	インター付近を営業車で走行中、ハンドル操作を誤って車両規制中の追い越し車線に進入し、作業のため停止していた工事用車両に衝突した。	231	17	30～ 49
2001	2	12 ～ 13	閉店後に裏口から侵入してきた強盗に左首やあごを包丁で刺された。	911	90	50～ 99
2001	2	13 ～ 14	居酒屋の駐車場で防犯ブザーが鳴ったので薬品店内から持ち出された商品の確保のために万引きした犯人を追いかけて行ったところ、犯人が逃走するため乗り込んだ乗用車に駐車場で右後方からひかれた。	231	18	10～ 29
2001	8	5 ～ 6	買物客が駐車していたワゴン車が約1.5～4度の勾配のため後方向に約18m逸走し、駐車場を清掃していた店員に激突した。	231	6	10～ 29
2001	9	14 ～ 15	事業場前の道路で2tトラックから荷を降ろす手伝いをしていたところ、後方から小型トラックが追突し、2台のトラックの間に挟まれた。	221	17	100 ～ 299
2001	10	0 ～ 1	乗用車で走行中、前方の車を追い越そうとしてセンターラインをはみ出し対向のトラックと正面衝突した。	231	17	10～ 29
2001	10	8 ～ 9	取引先に買い付けに行って車で走行中、対向のダンプカーと正面衝突した。	231	17	100 ～ 299
2002	3	11 ～ 12	軽トラックを運転して県道を走行中、右折しようとした軽乗用車と衝突して弾みで横転して対向車線に飛び出し、さらに対向車線を直進していた軽乗用車と衝突した。	221	17	1～9
		10	箱型トラックの荷台から荷の入ったコンビラック（質量約710kg）をリフ			

2002	5	～ 11	トのストッパーの位置まで移動させて、ゲートを下げた途端にコンビラックがリフト後方に動き落下し、ゲート後方でコンビラックを支えていた者が下敷きになった。	611	4	10～ 29
2002	5	～ 15	埠頭に停泊しているタグボートから注文を受けた船員用具（船内で使用する日用雑貨）の納品に向かい、埠頭で海中に墜落し翌日水死体で発見された。	417	10	1～9
2002	8	21 ～ 22	営業所を出て帰宅途中で別の営業所の社員と待ち合わせるため県道を走行中、対向の大型トラックがはみ出してきて車に衝突された。	221	17	1～9
2002	9	16 ～ 17	県道の跨線橋上で、営業途中の乗用車と対向車線をはみ出してきた無職男性の運転する乗用車とが衝突した。	231	17	50～ 99
2003	1	17 ～ 18	個人宅に葬式用のかご盛りを配達する途中、車ごと水深2.5mの川に転落した。	231	17	30～ 49
2003	2	0 ～ 1	ガソリンスタンドでフォークリフト（1.5t）に給油を終えて店にもどる途中、歩道の縁石から車道に脱輪したフォークリフトの姿勢を戻そうとしてハンドル操作を誤り、歩道脇の用水路に転落しフォークリフトの下敷きになった。	222	17	1～9
2003	2	15 ～ 16	調理室で、同僚と惣菜用のたまねぎ等を切っていたときに突然倒れ意識不明となった。	911	90	10～ 29
2003	2	10 ～ 11	布団を販売するため会社から高速自動車道をワゴン車で走行中に、吹雪で発生した多重衝突に巻き込まれた。	231	17	1～9
2003	3	11 ～	打合せを終え、会社へ乗用車でもどる途中、国道で対向車線にはみ出し大型トレーラーと正面衝突し、さらに後続のごみ収集車2台に追突された。	221	17	50～ 99

		12			
2003	8	21 ～ 22	営業を終えて乗用車で自動車道を走行中、自損事故を起こしたので追い越し車線で車が停止し、本人が事故の通報を110番に入れたときに、雨、霧が激しくて2台の後続車に激突された。	231	17 1～9
2003	10	16 ～ 17	仕事を終えて事務所にもどるため営業車（バン）で自動車道を走行中、緩やかなカーブで追い越し車線から走行車線に移ったときに、コンクリートの法面（のりめん）に乗り上げて約30m走行し橋脚に衝突した。	231	17 100 ～ 299
2003	12	18 ～ 19	店舗と道をはさんで有料駐車場がある事業場において、駐車場に設けられた電話で客から両替依頼を受けて用を済ませたのち、駐車場から信号のある交差点の横断歩道を渡っていたときに、直進してきた乗用車にはねられた。	231	17 100 ～ 299
2003	12	6 ～ 7	本社へ乗用車で移動するため峠を下っていたときに、運転操作を誤って中央線を越えて反対車線の電柱に激突した。	231	17 1～9
2004	9	18 ～ 19	小型トラックで高速自動車道を走行中、中央分離帯に接触し、横転した。	221	17 10～ 29
2004	12	20 ～ 21	店内の寝具売場付近から出火し、消火活動を行っていた労働者3名が煙にまかれた。	921	16 50～ 99
2004	12	20 ～ 21	店内の寝具売場付近から出火し、消火活動を行っていた作業員3名が煙にまかれた。	921	16 50～ 99
2004	12	20 ～ 21	店内の寝具売場付近から出火し、消火活動を行っていた作業員3名が煙にまかれた。	921	16 50～ 99
		22	ファミリーレストラン内で、クレーム処理を行った後、歩いて事務所に帰		300

2004	10 23	～	る途中、後方から高速で走行してきた乗用車（クレーム処理の相手が運 転）に跳ねられた。	231	90	～
2004	2 1	0 ～ 1	店舗巡回のため、電車に乗っていたが、目的の駅を乗り過ぎてしまった ので下車し、反対ホームに行ったところプラットホーム上で倒れた。	911	90	100 ～ 299
2004	12 20	19 ～ 20	店舗倉庫内に積み上げられた商品の上に登り、トイレトペーパー入りの 段ボールを取ろうとしていたところ、足を滑らせ2.42mの高さから墜落し た。	611	1	50～ 99
2005	6 16	15 ～ 16	高速自動車道を走行中、運転手が運転を誤り、中央分離帯に激突して対向 車線に飛び出し、対向してきたバスに正面衝突した。	231	17	10～ 29
2005	6 16	15 ～ 16	高速自動車道を走行中、運転手が運転を誤り、中央分離帯に激突して対向 車線に飛び出し、対向してきたバスに正面衝突した。	231	17	10～ 29
2005	8 15	14 ～ 15	駐車場でトラック荷台に乗って、積み荷確認をしていたところ、荷台のあ おり部に足を掛けた際に滑って転落した。	221	1	1～9
2005	7 14	13 ～ 14	自家用車で県道を走行中、下り左カーブにてスリップして道路左側の電柱 に衝突した。	231	17	50～ 99
2005	2 7	6 ～ 7	トラックで国道を走行中、夜間工事を終えて資材積込みのために誘導員を 配置し道路通行規制して停車していた工事車両に激突した。	221	17	1～9
2006	1 15	14 ～ 15	スーパー開設事務所内で備品搬入のため待機していた被災者が、床に倒れ ているのを備品納品に訪れた運送会社運転手に発見された。呼び掛けに反 応がなく、嘔吐も認められた為、救急車で病院に搬送したが、死亡した。	911	90	1000 ～ 9999
		7	店舗内の惣菜作業場付近において、被災者が作業床に倒れているのが発見			50～

2006	6	～ 8	され、救急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。	416	2	99
2007	2	13 ～ 14	被災者は、巡回業務のため自動車道路を移動中、トンネル内でスリップし、センターオーバーして対向車（4 tトラック）と衝突した。	231	17	30～ 49
2007	1	7 ～ 8	事務所の道路をはさんで向かいにある駐車場へ荷物を取りに行きもどる途中に市道を横断していたところ、軽自動車にはねられた。	231	17	1～9
2007	12	17 ～ 18	客先の納品が終了し、会社に戻るため2 tトラックにて自動車道下り線を走行中、前を走っていたダンプカーに追突した。	221	17	1～9
2007	4	2 ～ 3	被災者は、転勤異動するとともにグループ長に昇進したことに伴い、重責な業務が増していた。また、グループの売上げが思わしくない状況下において、奮闘するものの成果は上がらず、必然と長時間労働も余儀なくされたことなどから精神的に患い、自宅駐車場において、車の中でロープを用いて自殺（縊死）した。	921	90	300 ～ 499
2007	10	12 ～ 13	コンビニエンスストア内で万引きした2人組の男が逃走し被災者が追跡した。店から南に約160m離れた国道上で被災者は男の一人に刺されて死亡した。	911	90	10～ 29
2007	10	10 ～ 11	店舗北側の商品置場において、商品の個口数と伝票を確認する検品作業を行っていたところ、コンクリート製床面に倒れた。	418	2	100 ～ 299
2007	5	11 ～ 12	入社後、勤務中に具合が悪くなり、帰宅したが死亡した。	921	90	50～ 99
2008	7	11 ～	被災者は、建設資材を配達する作業に従事した後、国道を軽トラックを運転して事業場へ戻る途中、対向車線をはみ出してきたワゴン車と正面衝突	231	17	30～ 49

		12	して死亡した。			
2008	2	17 ～ 18	リーチフォーク（最大荷重1.7t）を使い、外壁材（2.16t）を約90cm持ち上げて移動していたところ、コンクリート地面に傾斜があったためリーチフォークが前のめりになり後部があがり荷物が崩れ落ちた。その時、被災者も運転台から地面に投げ出され、倒れたところに反動で戻ったリーチフォークの左後輪が被災者の上に落ちてきて、死亡した。	222	6	300 ～ 499
2008	2	7 ～ 8	店舗前の駐車場に進入した乗用車が、車止めを乗り越えて店舗前で清掃中の被災者に激突した。	231	6	1～9
2009	7	20 ～ 21	業務終了後、退社しようと4階更衣室から屋内の従業員専用通路階段を降りる途中、足を踏み外して3階まで転落して身体を強打し死亡した。	413	1	100 ～ 299
2010	3	18 ～ 19	店舗1階の男子トイレ個室において、長時間労働による過重労働により倒れているところをほかの社員に発見され、救急車で搬送されたが、1時間後、搬送先の病院で死亡が確認された。	921	90	100 ～ 299
2010	8	13 ～ 14	休憩を終え5階の従業員食堂から3階の担当売場に戻ろうとした労働者が、階段部分でバランスを崩して転倒し、4、5階間の踊場で頭部から血を流し倒れているところを発見されたもの。病院に運ばれ治療を受けたが、9日後に頭部負傷により死亡したもの。階段は、踊場まで12段あり、踏面21cm、蹴上18cm、幅185cmであった。	413	1	100 ～ 299
2011	4	13 ～ 14	美術館に付属するレストランの厨房に商品を納入に来た被災者が、外部通路階段下で、倒れているところを発見されたもの。	413	1	1～9
2011	1	17 ～ 18	従業員休憩室でお茶を飲むためキッチンのプロパンガスコンロ（家庭用の製品）でヤカンを用いて湯を沸かし、当該コンロに背を向けていたところ、着用していたエプロンのヒモにコンロの火が着火した。被災者は火を手で消し、火傷した手をキッチンの水道で冷やしていたところ、着衣の背中が燃えだした。病院にて治療が行われていたが、2月8日に死亡し	391	11	30～ 49



			た。			
2011	8	11 ～ 12	当該事業場の荷受け場所である高さ88cmのホーム上を歩行中、突然転落し頭部を強打した。病院に搬送されたが3日後に死亡したもの。	418	1	300 ～
2012	1	21 ～ 22	水産作業場内の排水側溝末流に設置された「グリストラップ」と呼ばれる生ごみ等の回収溝（長さ100cm、幅60cm、深さ90cm）に溜まった水（水深約40cm）に上半身が入り、意識がない状態の被災者が発見され、救急搬送先の病院で死亡した。	713	10	100 ～ 299
2015	1	0 ～ 1	大規模プロジェクトの責任者として、過重な長時間労働に従事したことで、強い心理的負荷により、うつ病を発症し、正常な認識や行為選択能力が著しく阻害され、自殺したもの。（発生時間不明）	921	90	1000 ～ 9999
2015	9	13 ～ 14	商品の配達先において、トラックの荷台からビールケースを持って後ろ向きに下りる際に、後方に転倒して、地面に頭部を打ち付けた。	221	2	50～ 99
2016	1	17 ～ 18	営業で得意先を訪問するため、得意先の道路向かいの路肩にワゴン車を駐車し、運転席から降りた際、ワゴン車が後方へ逸走したので、これを止めようとしたが、当該ワゴン車の後部と後方に駐車中の車両との間に挟まれた。	231	17	10～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_03.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_03.html)に戻る。